

区分・種別	県指定無形民俗文化財		
名称	ともうま ぎょうじ お供馬の行事		
所在地	今治市菊間町浜		
所有者	加茂神社	管理団体	
指定年月日	昭和40年12月24日		
解説	<p>通称「走り馬」といわれ、加茂神社の例大祭の10月第3日曜日に行われる。「お供馬」とは、「走り馬」行事に参加した馬が神輿の渡御に供奉することからその名がある。加茂神社は応永6年（1399）に遍照院の境内に同寺の鎮守神として勧請された。菊間の地は古く京都の上賀茂神社の荘園であった。遍照院文書の明応4年（1495）の祭礼の条に「侍競馬」の記事があり、上賀茂神社の有名な競馬<small>くらべうま</small>との関係から始められたと考えられる。</p> <p>少年騎手「乗り子」と馬の口取「口引き」は7日前から海で禊をとる。当日、飾り付けた馬に白衣、平袖の長襦袢を着用、鉢巻に江戸苧の襷をつけ、紙ボンデンを付けた竹根の鞭を持った騎手を乗せる。鳥居元から社頭まで約300mの馬場に、馬をつぎつぎに走らせる勇壮な行事である。</p>		

